

水夕テ養殖、搾乳、砂金採集一

体験観光楽しいね

木古内 秋田の小学生来町

【木古内】農漁業体験や自然との触れあいを通じ、修学旅行生らに地域への理解を深めてもらう「体験観光」が今年も町内で行われ好評だ。21～24日には秋田県大館市の釈迦内小（五十嵐経校長、275人）の6年生ら65人が来町。民家に宿泊してもらう「民泊」を初めて2泊にわたって実施した。（菊池圭祐）

釈迦内小の児童らは
3泊4日の日程でホタテ養殖や搾乳、川での砂金採集などを体験。

同校の五十嵐経校長（59）は「自分の学校に合った体験が大切。子供たちは経験を忘れない。今後も子供たちのために体験観光を通じて木古内との交流を深めていきたい」と話していた。

民泊初日の22日夜、子供たちは2～4人ずつ16世帯の家に分かれ、宿泊先の家族と夕飯をともにするなど交流を深めた。

民宿を営む近藤舞子さん（36）宅には、女子児童4人が宿泊。日景紫苑さん（11）は「初めてのことが多くて不安だったけど、近藤さん

民泊2泊 交流増やす



「民泊」を体験した近藤さん宅で寝具を整頓する大館・釈迦内小の児童たち